

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【公表番号】特表 2012-509359 (P2012-509359A)

【公表日】平成 24 年 4 月 19 日 (2012.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-016

【出願番号】特願 2011-543785 (P2011-543785)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/565 (2006.01)

A 6 1 K 31/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/02

A 6 1 K 31/565

A 6 1 K 31/58

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 9 月 25 日 (2012.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腔内薬剤放出システムであって、

少なくとも 1 つのコンパートメント (1 a、1 b) であって、第 1 断面直径 (d_2) を有する芯 (2) と該芯 (2) を包む膜 (3) とを含み、該芯 (2) と該膜 (3) とは互いに同一または異なる重合体組成物から実質的になるものであり、こうして、第 1 末端と第 1 断面および第 2 末端と第 2 断面を有する芯 - 膜システム (5) を構成するコンパートメント (1 a、1 b)、および

第 2 断面直径 (d_6) と長さ (L) を有し、該芯 - 膜システム (5) の第 1 末端と第 2 末端とを結合するための結合手段 (6)、

を包含し、

該結合手段 (6) の第 2 断面直径 (d_6) は該芯 (2) の第 1 断面直径 (d_2) よりも実質的に小さいことを特徴とする腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 2】

結合手段 (6) に接着剤が適用されていることを特徴とする、請求項 1 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 3】

芯 - 膜システム (5) の第 1 断面および / または第 2 断面に接着剤が適用されていることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 4】

結合手段 (6) の長さ (L) の実質的に半分が 芯 - 膜システム (5) の第 1 末端の内部に位置し、結合手段 (6) の残りの部分が 芯 - 膜システム (5) の第 2 末端の内部に位置することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 5】

芯 - 膜システム (5) の第 1 末端および / または第 2 末端における芯 (2) の実質的に中心部が開口部 (4) を有し、単数または複数の該開口部 (4) の中に結合手段 (6) が

位置することを特徴とする、請求項 4 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 6】

芯 (2) の実質的に中心部が開口部 (4) を有し、該開口部 (4) が芯 - 膜システム (5) の全長に亘って延びており、該開口部 (4) の中に結合手段 (6) が位置することを特徴とする、請求項 4 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 7】

結合手段 (6) が生体適合材料からなる重合体ロッドであることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 8】

結合手段 (6) の長さ (L) が 5 ~ 25 mm である ことを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 9】

結合手段 (6) の長さ (L) が 10 ~ 20 mm である ことを特徴とする、請求項 8 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 10】

芯 (2) の断面直径 (d_2) が 2 ~ 10 mm であり、結合手段 (6) の断面直径 (d_6) が 0.5 ~ 4.0 mm であることを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 11】

治療的に活性な種々の物質を長時間に亘って所定の制御放出速度で投与するのに適することを特徴とする、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 12】

治療的に活性な物質がプロゲステロン、プロゲステロン活性を有する化合物、もしくはエストロゲン、またはこれらの組み合わせであることを特徴とする、請求項 11 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 13】

少なくとも 1 種の他の治療的に活性な物質または少なくとも 1 種の健康増進物質をさらに含むことを特徴とする、請求項 12 に記載の腔内薬剤放出システム (1)。

【請求項 14】

腔内薬剤放出システム (1) の製造方法であって、

該腔内薬剤放出システムは、芯 (2) と該芯 (2) を包む膜 (3) とを含む少なくとも 1 つのコンパートメント (1a、1b) であって、該芯 (2) と該膜 (3) とは互いに同一または異なる重合体組成物から実質的になるコンパートメント (1a、1b) を含み、該製造方法は、下記工程：

第 1 断面直径 (d_2) を有する単数または複数の芯 (2) を形成し、

単数または複数の該芯 (2) を膜 (3) で包んで、2 つの末端を有する芯 - 膜システム (5) を形成し、そして

該芯 - 膜システム (5) の 2 つの末端を第 2 断面直径 (d_6) を有する結合手段 (6) によって互いに結合して、実質的に環状の腔内薬剤放出システム (1) を形成する、

を包含し、

該結合手段 (6) の第 2 断面直径 (d_6) は単数または複数の該芯 (2) の第 1 断面直径 (d_2) よりも実質的に小さいことを特徴とする製造方法。

【請求項 15】

単数または複数の該芯 (2) および / または該膜 (3) を射出成形または押出成形により製造することを特徴とする、請求項 14 に記載の腔内薬剤放出システム (1) の製造方法。